



週報

入間ロータリークラブ

2018-2019 RI 会長:バリー・ラシン RI2570 地区ガバナー:茂木正 会長:齋藤栄作 幹事:豊田義継

第3号 3031 回例会 2018年 7月 19日 (木)

西日本豪雨災害被災者の方々にお悔やみとお見舞いを申し上げます。

<❀会長の時間❀> 齋藤栄作会長

西日本豪雨災害の義援金についてのその後の進捗状況をご報告します。

私の 30 年来の旧友であります第 2640 地区(大阪南部・和歌山)檜畑直尚ガバナー(和歌山 RC)のご紹介で第 2670 地区ガバナー(愛媛・香川・高知・徳島)桑原征一ガバナーと連絡を取ることが出来ました。報道でご存知の通り愛媛地区も広島に次いで被害が大きな地域であったからです。しかし、被災地を抱えた地区でさえ未だロータリークラブ毎の被害状況がよく把握されていない状況でありました。

少しでも早く、ロータリークラブに直接義援金を届けることが最も大事な事だと判断し、やはり 30 年来の旧友であり広島を代表する経営者であるフマキラー株式会社取締役会長の 大下俊明氏に連絡を取りました。10 数年ぶりの電話でしたが秘書室に電話を入れてから 20 分後に私の携帯電話にコールバックしてくれました。その後直ちに大下氏の仲立ちで広島ロータリークラブ(会員数 120 名)の会長の廣谷清様からご連絡をいただきました。フマキラーの大下会長から連絡をいただきました。「入間ロータリークラブの皆様のご好意に対し心から感謝申し上げます。くれぐれも会員の皆様に宜しくお伝え下さいとの事でした。」その後大下氏が義援金の渡し方について廣谷会



長とご相談していただき最も効果的で入間 RC の意図も反映される方法論を考えていただきました。7月 24 日の広島 RC の例会にて会員全員に発表し、続いて 7月 31 日のガバナー訪問例会に入間 RC からの義援金を直接第 2710 地区(広島・山口)吉原久司ガバナー(尾道 RC)にお渡しする。その後広島 RC から地区ガバナーに別途義援金をお渡しするというものです。

私としても明確にスピーディーに効果的に入間 RC の義援金が手渡される事に感謝する共にいつもながら大下氏の行動とセンスに感動しました。

今日は「4つのテスト」について少し話したいと思います。ハーバート・J・テラーは両親の影響で信仰心の深い敬虔なクリスチャンでした。彼が会社のために作り上げ、まとめたものが「四つのテスト」です。英文やアメリカ的な考え方に触れるのも時には大事です。

「4つのテスト」 Four-way-test 4つがそれぞれ独立しているため複数ではない。一つ一つが完結して初めて4つのテストの完結になる。

●真実かどうか

Is it the truth?

●みんなに公平か

Is it fair to all concerned?

●好意と友情を深めるか

Will it build goodwill and better friendships?

●みんなのためになるかどうか

Will it be beneficial to all concerned?

会社のために作り上げたと言う事実を踏まえて和訳すると。

1. 事実かどうか？ 偽りはないか？
 2. すべての取引先に対して公正か？
 3. 信用を高め良い取引関係を築くか？
 4. すべての取引先に利益をもたらすか？
- となるそうです。

皆さんの仕事の場面にとりいれてみてはいかがでしょうか？

ロータリアンが集まるロータリークラブとしてとても大事な4つのテストであることには何ら変化はありません。

ロータリアンとして行動するときは上段の4つを心にビジネスマンとして行動するときは下段の4つを思い起こして行動するのもよいでしょう。

さて、本日は各委員長の年度計画発表となりますがご自分の言葉でぜひ語って下さい。

<幹事報告> 豊田義継幹事

<報告事項>

1. 7月17日(火)夏の交通事故防止運動 出陣式への参加 当クラブから3名出席
2. 平成30年7月西日本豪雨義援金の養成の件 当クラブでは7月12日の臨時理事会で方向が決定しているので、要請があったことのみ報告



<お願い事項>

- ① 7月26日(木)ガバナー補佐と新旧役員、慰労激励会の出席向上依頼
- ② 8月30日(木)納涼夜間例会(とうふ屋うかい)出席のお願い

●委員長報告

<会員増強委員会> 一柳達朗委員長

8月9日の会員増強のための候補者を呼んでの夜間例会にお知り合いの方を連れてきていただければと思います。大勢の参加宜しくお願いします。

<出席報告> 白幡英悟委員長

会員数	出席数	出席率	前回修正率
44名	30名	75.00%	79.06%

事前欠席連絡 3名

●各専門委員会 委員長年度計画発表●

■職業分類委員会 友野政彦委員長

活動計画につきまして一点だけご説明いたします。

「増強しやすい職業」とは、地区のデータより明らかであり、これを意識した分類表を考えようと思っています。



■会員増強委員会 一柳達朗委員長

活動方針と計画は年度計画書の通りです。会員増強は比較的、新しく入会した会員の方々が入間RCの雰囲気になじませて一緒に活動したいと思う人を最重要点に考えて声掛けしていただければと思っています。如何か宜しくお願い致します。



■ロータリー情報委員会 粕谷康彦委員長

ロータリー情報委員会は新入会員・経験のある会員・会員候補者にロータリークラブ会員の特典と責務に関する情報を提供します。又、あらゆるレベルのロータリーの目的活動に関する情報をロータリアンとして必要な知識やルール等(歴史・綱領・活動)を提供します。

活動計画として

- ①新入会員及び在会年数の短い会員にあらゆるレベルのロータリーの歴史・目的・活動に関する学習会を年2回開催します。
- ②会員が自ら勉強してロータリー情報を委員長報告として詳しく伝えます。
- ③例会で新情報があった場合、発表をすることが必要です。



■出席向上委員会 白幡英悟委員長

活動方針は年度計画書のとおりです。活動計画は

1. 引き続き例会時の出席状況報告と一緒に次回例会場所及び例会内容をお知らせする。



2. 齋藤会長も言われてましたが、例会欠席時には他クラブ例会等への出席でのメーカーが原則です。クラブ定款第12条に出席に関する規定に皆さん目を通して下さい。
3. 四半期毎に各会員及びクラブ全体の出席状況一覧を配布し出席への意識向上を促す。
4. 各委員会や事務局とも連携して出席率向上を目指す。特に毎月の各種お祝い該当者に直接連絡し、出席頂ける様ご案内する。
5. 年間会出席者への表彰を行い、委員メンバーと話し合って記念品を贈呈する。

■会報・雑誌動委員会 水村雅啓委員長

会報（週報）は、例年通り見やすく、わかり易いをモットーに発行していきます。また、ロータリー情報を掲載するなど、紙面を有効に使うようにいたします。掲載記事は、発言者に原稿を依頼してデータでの提出をお願いし、編集発行をしやすくして行きたいと思ひます。



「ロータリーの友」はロータリアンには欠かせない貴重な情報源であります。毎月記事を紹介するとともに、雑誌の熟読をすすめます。また、当クラブの活動を「友」に投稿をしていきたいと思ひます。当委員会は、ロータリーの会報・雑誌を通して会員、家族及び地域の人々にロータリーへの関心を深めるよう努力していきます。

■親睦活動委員会 後藤健委員長

入会して最初に2年間親睦委員を務めました。その際の委員長は、会長経験の方々にスムーズに委員会活動及び各種例会を纏めていました。私にその任が務まるか不安の中での船出です。



会長、幹事、クラブ奉仕委員長、プログラム委員長、それから委員の方々に御協力頂き一年間よろしくお願いいたします。活動方針ですが、ロータリークラブの役割を理解できる行事を開催します。会員相互のコミュニケーションが図れ、楽しい時間を共有する活動を目指し、「楽しかったね！」って言われることを大事にします。

■プログラム委員会 馬路宏樹委員長

活動方針は「今年度の会長の運営方針に則り、有意義で活気のある例会プログラムを提案します。また、各会員が例会を通じてインスピレーションになれるよう努力いたします。」当クラブが会長を先導に社会奉仕のインスピレーションとなるには、個々の会員がインスピレーションになる事が必要と考えます。



活動計画1. 月間のテーマに沿った講師をお迎えして卓話をしていただく。2. 毎月の最終例会を夜間例会とし、会員卓話を充実なものとする。3. 親睦旅行、日帰り美術館等の例会を複数回企画して参加しやすい例会にする。

9月の基本的教育と識字率の向上月間には西澤教育長とわかき高等支援学校の山口校長より卓話をいただきます。又、昼間は仕事の都合で出席出来ない会員には毎月夜間例会を行い、参加しやすい日帰りの旅行を企画します。

■広報委員会 金井祐一委員長

今年度の広報委員は SNS を活用してロータリークラブの活動を知ってもらおう。Facebook のページを作成し順次アップデートしていく。



また、万燈祭に於いても例年通り活動を知ってもらおう場にしていきます。

■ロータリー美術館 宮寺成人館長

ロータリー美術館は趣旨が会員所蔵の美術品、会員及び会員家族の作品を例会に展示しました美術館巡り等を行い情緒を深め、教養を高めるとともに会員相互の親睦交流の輪を広げることです。その趣旨の通りの活動を行いますのでよろしくお願いします。



■健康管理委員会 杉田宏充委員長

電話一つで委員長を受けてしまいました。故山根宏夫先生に意を継いで、今年入会されたご子息の山根輝彦さんと二人で運営して参ります。卓話につきましては、皆様のご意見を伺いながら実現できればと考えております。1年間宜しくお願い致します。



■ロータリー財団委員会 吉岡信人委員長

活動方針は「財団に関する会員のより一層の理解を深め、積極的な参加、支援の意欲の向上を促進する」としました。財団創立100周年という節目を超え、その先も継続していくためには何が必要であるか皆さん一人ひとりが考え、行動していくことを目的に、方針を定めました。



活動計画①年次基金への会員一人あたりの平均寄付額が少なくとも100米ドルとなるよう推進する。当クラブの一昨年度の平均寄付額は約154米ドル、昨年度(昨年7月から今年4月までの集計)は約134米ドルとなっています。今年度も引き続き皆さんから、より多くの寄付をお願い申し上げます。②ロータリークレジットカードの入会作成を奨励するです。当カードの特徴としては、利用金額の0.3%がポリオ撲滅支援に使われるという仕組みになっています。買い物という日常のシーンにおいて容易に寄付することができ利便性が高いと思いますので、是非入会の手続きをお願い致します。

■米山記念奨学委員会 田中快枝委員長

米山奨学生に対し積極的に例会等への参加を促す。又、皆様から米山記念奨学委員会寄付をお願いすることを目的として活動して参ります。宜しくお願い致します。



■回覧、配布物

- ①ハイライトよねやま Vol. 220
- ②入間市教育委員会研修会参加のお礼
- ③2020-22年度 RI 理事候補者推薦書式
- ④8/2 ガバナー公式訪問出欠表
- ⑤8/30 納涼夜間例会出欠表
- ⑥7/26 ガバナー補佐訪問&新旧役員慰労激励会出欠表
- ⑦他クラブ週報&例会変更のお知らせ
- ⑧入間クラブ週報2号

発行 入間ロータリークラブ

- 事務所：〒358-0023 入間市扇台3-3-7 ハイッ斎竹101号 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788
- Email iruma-rc@jupiter.plala.or.jp
- 例会場：丸広百貨店入間店6Fバンケットホール Tel. 04-2963-1111
- 例会日：木曜日 12:30~13:30 ■会報委員長：水村雅啓

